



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ イ ク ロ ア ド
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 渡 辺 健 太 郎
(コード番号：9553 東証グロース)
問合せ先 常務執行役員 コーポレート本部長 福 田 裕 也
(TEL.050-1753-0440)

繰延税金資産及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、当社は、2025 年 9 月期の連結会計年度（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）において、繰延税金資産及び特別損失の計上を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産（法人税等調整額）の計上

今後の業績見通し等を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産が増加したことから、2025 年 9 月期第 4 四半期連結会計期間において、法人税等調整額（△は利益）を△421 百万円を計上いたしました。

この結果、2025 年 9 月期第 3 四半期連結累計期間（2024 年 10 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）において、法人税等調整額は 37 百万円を計上していたため、2025 年 9 月期の連結会計年度における法人税等調整額（△は利益）△383 百万円となりました。

2. 特別損失（有価証券評価損及び固定資産除却損）の計上

当社が保有する投資有価証券の一部について、取得価額に比べて時価または実質価額が著しく低下したため、2025 年 9 月期第 4 四半期連結会計期間の連結及び個別決算において、減損処理による投資有価証券評価損 198 百万円を特別損失として計上いたしました。

この結果、2025 年 9 月期第 3 四半期連結累計期間（2024 年 10 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）において、投資有価証券評価損は 131 百万円を計上していたため、2025 年 9 月期の連結会計年度における投資有価証券評価損は 330 百万円となりました。

また、データプロダクト及びコンサルティングの各サービスにおいて、開発費の一部をソフトウェアとして資産計上しておりましたが、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて回収可能性を検討し、保守的に将来の収益見込み等を勘案した結果、一部ソフトウェアの帳簿価額の全額を減損処理し、2025 年 9 月期第 4 四半期連結会計期間において、減損処理による固定資産除却損 117 百万円を特別損失として計上いたしました。

この結果、2025 年 9 月期第 3 四半期連結累計期間（2024 年 10 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）において、固定資産除却損は 20 百万円を計上していたため、2025 年 9 月期の連結会計年度における固定資産除却損は 137 百万円となりました。

3. 今後の見通し

上記の繰延税金資産（法人税等調整額）及び特別損失（投資有価証券評価損及び固定資産除却損）の計上については、本日公表の「2025 年 9 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上